



会長あいさつ

当会は、利用者自らが主体となって、石川線の必要性について考え行動するために発足されました。依然として厳しい状況が続いており、「みなし上下分離方式」で令和7年度より公的な支援を受けながら運行を続けている石川線ではございますが、令和8年3月15日よりキャッシュレス決済サービスが開始されることになり、今後も新型車両の導入などが計画されています。様々な取り組みのもとで、利用者を増やすために行動していくことが、今後より一層大切になると考えています。

石川線は地域の文化や人々の生活を結ぶためになくてはならない大切な存在です。私たちの大切な生活の足を守るため、皆様とともに利用促進に向けて活動してまいりたいと思います。今後ご協力の程よろしくお願いたします。

北陸鉄道石川線の利用促進を考える市民の会
会長 垣坂 太佳盛

令和7年度活動報告

- 令和7年 8月 1日 役員会（書面表決による開催通知発送・9月11日決議）
- 11月 1日 市内3駅清掃活動（雨天のため中止）
- 12月19日 野々市工大前駅の在り方に関する意見交換会実施
- 12月23日 初詣の運行に関するお知らせ発信（市公式SNS等）



活動風景

野々市工大前駅の在り方に関する意見交換会

実施日 令和7年12月19日（金）

参加者 野々市工大前駅沿線町内会 5名（本町二丁目、高橋町）

金沢工業大学学友会 5名 北陸鉄道（株）関係者 3名

野々市市議会議員 1名 野々市市職員 4名 計18名

北陸鉄道（株）より、「野々市工大前駅活用に関する方向性・イメージ案」について説明。その後、参加者の皆さんも交えて、賑わいのある駅環境創出に向けた忌憚のない意見交換を行いました。

